

2025 年度 事業報告

2025 年 5 月 23 日から

2026 年 3 月 31 日まで

2025 年度事業報告

1. 事業の概況

2025 年度は、一般財団法人球心会の設立初年度として、2025 年 5 月 23 日の設立後、法人運営体制の整備を進めるとともに、公益目的事業の実施に向けた基盤構築を行った。

当法人は、野球・スポーツを通じて子どもたちの健全な成長及び将来の人材育成に寄与することを目的とし、社会環境の変化により子どもたちが野球に触れる機会が減少している現状を踏まえ、当該課題の解決に資する各種事業の企画及び実施を行っている。

初年度においては、公益目的事業の中核的取組である「BEYOND OH! PROJECT」を始動させ、野球界及び関連団体との連携のもと、不特定多数の子ども及びその保護者を対象とした体験機会の創出、並びに情報基盤整備に係る取組を推進した。

また、当法人の理念に賛同する企業との間でビジョンパートナー契約を締結し、公益目的事業の実施に必要な資金的基盤の整備及び連携体制の構築を図った。当該支援は、特定の企業の販売促進を目的とするものではなく、公益目的事業の実施を支えるものとして位置付けている。

2. 事業の実施状況

(1) 野球・スポーツを通じた子ども・未来創造に関する事業

① 普及振興事業

a. BEYOND OH! PLAY KIDS（幼少期原体験プロジェクト）

本事業は、野球に初めて触れる未就学児及び小学生並びにその保護者を対象として、野球及び身体活動に対する興味関心を喚起し、将来的なスポーツ参加の裾野拡大を図ることを目的として実施した。

本事業は事前申込制プログラムに加え、申込不要・参加費無料の体験機会を設けることにより、不特定多数の参加を可能とする形で実施した。

【実施概要】

- ・実施日：2025 年 11 月 15 日、16 日
- ・実施場所：東京ドーム、東京ドームシティ内施設
- ・主な対象：未就学児・小学生及びその保護者
- ・来場者数：約 6,000 名（2 日間合計）

本事業を通じ、これまで野球に接する機会の少なかった子ども及び保護者に対し、野球に触れる機会を提供するとともに、スポーツへの関心の喚起に寄与した。

b. BEYOND OH! PLATFORM（プラットフォームプロジェクト）

本事業は、野球に関する情報へのアクセス格差及び参加機会の地域差といった課題の解消を図ることを目的として、不特定多数の子ども、保護者及び関係者が利用可能な情報基盤の整備を行うものである。

近年、子どもたちが野球と出会う機会の減少や、保護者にとって必要な情報の分かりにくさ、地域

ごとの情報格差等が課題となっている。こうした状況に対応するため、本事業では、情報や機会を必要とする者に適切に届ける仕組みの構築を目的としている。

本プラットフォームは、野球に興味を持つ子ども及び保護者、地域でベースボール型スポーツを支える団体・チーム・関係者等が、必要な情報や参加機会に円滑につながることを可能とする基盤として整備するものであり、野球界全体で共有し、継続的に発展させていくことを想定している。

当年度においては、以下の機能の企画及び開発を行った。

- ・全国の野球体験イベント等の情報を集約し提供する機能
- ・子ども及び保護者が必要な情報を相互に共有できる仕組み
- ・地域における野球活動の場及び参加機会を可視化する機能

また、2025 年 11 月にウェブサイトを開示、情報発信を開始するとともに、翌年度以降の本格運用に向けた検証を行った。

なお、本プラットフォームは、2026 年度より本格的な提供開始を予定している。

c. 普及振興事業の他プロジェクト

野球用具の費用負担や保有状況の差異が、子どもたちのスポーツ活動への参加機会に影響を与えている課題を踏まえ、野球用具の提供及び循環を通じた参加機会の確保に向けた企画検討を行った。

② その他事業（準備段階）

地方創生・環境整備、指導者育成・教育、国際交流・価値創出等の各事業については、公益目的事業としての実施に向け、関係団体及び自治体等との協議並びに企画検討を行った。

これらの事業は、地域格差の解消、人材育成及び国際交流の促進等、公益性の高い課題への対応を目的としており、翌年度以降の具体的な事業展開に向けた準備を進めたものである。

③ BEYOND OH! VISION MEETING（野球界の未来会議）

本取組は、公益目的事業の推進に資する連携体制の構築の一環として実施した。

BEYOND OH! VISION MEETING は、野球界及びスポーツ界における将来的な課題の共有及び解決に向けた方向性の整理を目的として、意見交換及び討議を行う場として実施したものである。

【実施概要】

- ・実施日：2025 年 12 月 10 日
- ・実施場所：パレスホテル東京
- ・参加者：約 90 名

当該会議では、当法人の当年度の取組報告及び来期以降の方針説明を行うとともに、「将来の子どもたちのために、今、野球界・スポーツ界としてすべきこと」をテーマとして討議を実施した。

当該会議には、当法人役員、野球界 OB（アンバサダー）及びビジョンパートナー企業関係者等が参加し、多様な視点からの意見交換を通じて、今後の公益目的事業の企画及び実施に資する知見の整理を行った。

また、本会議の開催に先立ち、ビジョンパートナーに関するプレスリリースを公表し、当法人の活動方針及び連携体制について広く発信した。

3. 組織運営

当法人は、理事会及び評議員会を適切に開催し、法令及び定款に基づく意思決定及び監督体制の確保に努めた。

(1) 諸会議の開催

当法人の運営に必要な意思決定及び報告のため、理事会及び評議員会を次のとおり開催した。

・理事会

2025 年 7 月 8 日

2025 年 8 月 25 日

2025 年 11 月 17 日（対面及びオンライン併用）

2025 年 12 月 8 日（書面開催）

2026 年 3 月 23 日（対面及びオンライン併用）

・評議員会

2025 年 9 月 8 日（対面及びオンライン併用）

(2) ビジョンパートナーとの連携

当法人の理念及び取組に賛同する企業との間でビジョンパートナー契約を締結し、公益目的事業の推進に必要な支援体制の整備を図った。

(3) アンバサダー体制の整備

当法人の理念及び趣旨に賛同する野球関係者をアンバサダーとして迎え、子どもたちや地域に向けたメッセージ発信、イベント参加等を通じて、公益目的事業の推進を支える体制整備を行った。

4. 公益目的事業の実施体制の整備

当法人は、公益目的事業の適正かつ継続的な実施を確保するため、野球界、スポーツ関係団体、自治体及び企業等との連携体制の構築を進めるとともに、公益性及び透明性の確保に資する運営体制の整備を行った。

また、定期的な協議の場を設け、事業の実施状況の確認及び課題の整理を行うことにより、事業の適正な実施及び継続的な改善を図った。

さらに、2026 年度における公益財団法人への移行を見据え、公益認定基準への適合に向けた体制整備及び各種規程の整備等を進めた。

5. 今後の課題及び方針

今後は、初年度に構築した基盤を踏まえ、公益目的事業の拡充及び継続的な実施を図るとともに、不特定多数の利益の増進に資する事業としての質の向上に努める。また、事業の実施に当たっては、関係団体との連携を一層強化し、社会的課題の解決に資する取組として発展させていく方針である。

以上